ボーリング柱状図

調 査 名 ボーリングNo. 事業・工事名 シートNo. ボーリング 名 調査位置 北 発注 機 関 調査期間 平成 26年 12月 6日 ~ 26年 12月 9日 東 経 ボーリング 調査業者名 主任技師 代理人 鑑定者 責 任 者 北,0° 地盤勾配 使用機種 標高 孔 口 試 錐 機 Y~B~M-0~5鉛水平0° 直 上 90° 27<u>0° 9</u>0° 西 東 413.428m 東 エンジン 総掘 進 長 N F A D - 8 ポンプ SP-8 20.50m 180° | 南 コア採取率 岩 硬コ 割風 ルジオン 標準貫入) 試 験 標 標 深 柱 岩 色 変 記 原位置試験 <u>~</u> (%) コアチューブ/ビット 論 圧 (NN / ㎡) (1 / 分) (P~QN値~深度) 図 れ 掘進速度 水位 []: ルジオン値 (): 換算ルジオン値 (): 限界圧力 最大コア長 級 種 目 尺 高 度 状 cmの / 孔壁保護 R Q D ⊠ 形 区 測定 状 _ [%] N 値 义 分 軟狀態化質 事 分 (m) (m) 調 俌 礫混じり砂、植物根混入 412.93 0.50 (1,2,β) 0.45 暗 粘土質砂。1~1.2mにて粘土分少なくなる。 +: 1.15 412. 茶 10 崖 1.45 灰 錐 流紋岩の二次堆積物。φ2~6mm程 度の流紋岩角礫多数混在。 2.15 r 白 2.45 穑 410.43 410.23 物 褐灰 3.15 21 灰 12/9 4.20 白 4.15 E VI d ε 強風化しφ2~6mmの細礫状~砂状。 21 ~ 褐 4.45 岩 408.0 5.45 22 6.45 7.15 7.45 紋 8.15 岩質 8.45 砂〜粘土混じり砂状。 僅かに岩石組織を残す。 石英斑晶が残留する。 E VI ε 溶 d 9.15 結 9.45 辭 10 10.45 岩 11 1.15 D 11.45 12 2.15 12.60 13.90 41 12.45 В Ш E -400.53 <u>助層粘土</u> シルト状コア。ややアズキ色を 帯びる。 13.50 399.93 灰 13.45 褐 Ш δ D 砂礫状となる。一部粘土状。 14.15 398.93 14.50 14.45 15 5.15 (25.35/7) 16 16.15 紋 16.45 φ2~15mmの角礫混じり砂状。 岩石組織を残し、石英や長石な どの鉱物が認められる。 14.7mにて完全逸水。 III 灰 17 Е ε 17.15 白 (20,22,18/8) 17.43 18 18.45

堆積物。亀裂または空洞への流 入物。 砂状。

19.45

20.45

D

(10,12,18)

19

20

393.43

392.93

20.50

砂 裼

流紋岩 灰白 E VI d ε